

【理科のグランドデザイン】

何ができるようになるか ○各教科等で育成する資質・能力		何が身に付いたか ○各教科等の学習評価	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度 		<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けようとしている。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養おうとしている。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。 	
子供たちの実態		子供たちの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子供への指導	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然現象に対して意欲的に考察する生徒が多く、授業内においては自身の思考を積極的に他者に伝えようとしている。 ・実験などにおいて失敗を強く恐れる生徒も多い。 ・既習事項の定着状況に差がある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・質問教室などで習熟度の低い生徒に対する学習支援を行う。 ・生徒の習熟度に応じて、発問内容を工夫する。 ・スモールステップを意識した授業を行う。 ・実験の操作手順を具体的に明示する。 	
何を学ぶか ○各教科等の教育課程の編成		どのように学ぶか ○各教科等の授業の実施	
<ul style="list-style-type: none"> ・科学的に探求しようとする態度を養うとともに、自然を総合的にみるために必要な資質・能力を学ぶ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・問題を見だし見通しをもって観察、実験を行う授業展開にする。 ・他者との話し合い活動の時間を多く取り入れる。 ・やり直しレポートの作成を実施する。 ・ICT教材などでの視覚的アプローチにより理解を深める工夫をする。 	
実施するために何が必要か ○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働			
<ul style="list-style-type: none"> ・教材・教具の共有など教師間での連携を通して、常に教師が指導力の向上を図り続ける。 ・ICT機器、実験器具の充実 			
各教科等の特質に応じた「見方・考え方」			
<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象を、定性的・定量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係づけたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること 			